

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 40 号

第 40 週(10月 2日 ~ 10月 8日)

発行年月日:平成18年(2006年) 10月 13日

発行 :滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

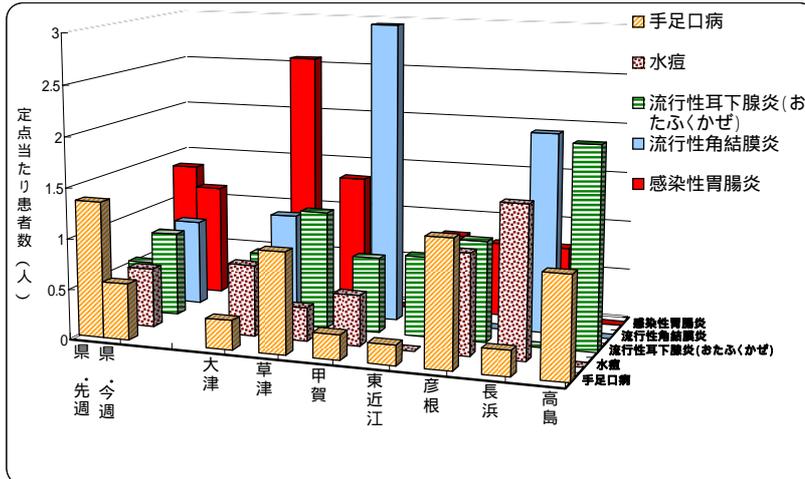
インフルエンザウイルスB型の検出 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~40週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(9月25日~10月1日)の報告数とほぼ同じです。増加した疾患は水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎等です。減少した疾患は咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の細菌性赤痢1名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名および四類感染症のレジオネラ症1名の届出がありました。

また、平成18年9月22日に採取されたインフルエンザ様疾患患者1名の咽頭ぬぐい液から**インフルエンザウイルスB型**が検出されました。なお、県内における今シーズンの検出は今回が初めてです。

上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第40週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、水痘、手足口病の順に多くなっています。県全体で見ると、手足口病は大幅に減少し、水痘、流行性耳下腺炎および流行性角結膜炎は増加しています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~40週)

感染症類型	疾患名	1~37週の累積報告数	38~40週の報告年月日	概 要		
				菌種・血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	コレラ(疑似症)	1	報告なし			
	細菌性赤痢	5(*)	H18.10.6	菌種:ソネ	大韓民国	経口感染
(*)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含む						
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39	H18.9.27	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H18.10.4	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染(フランクフルト、焼き肉)
			* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型			
四類感染症	E型肝炎	1	報告なし			
	A型肝炎	20	H18.10.2		日本国内	経口感染
	レジオネラ症	10	H18.10.3		日本国内	不明
五類感染症	アメーバ赤痢	7	報告なし			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	7	報告なし			
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	3	報告なし			
	急性脳炎	1	報告なし			

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき、医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (40週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (40週)	全国 (40週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	43	0	54
	細菌性赤痢	1	^{(*)2} 6	389	^{(*)3} 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	60	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	1	41	3,194	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	1	56	0	40
	A型肝炎	0	21	284	1	168
	オウム病	0	0	18	1	34
	デング熱	0	0	42	1	73
	マラリア	0	0	48	0	66
	レジオネラ症	1	11	384	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	575	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	210	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	130	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	90	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	987	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	65	0	81
	梅毒	0	3	466	0	555
	破傷風	0	0	90	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	52	2	65
	急性脳炎	0	1	130	2	180

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第40週(10/2～10/8) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 細菌性赤痢 22例	腸チフス 5例	パラチフス 1例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 60例	四類感染症: A型肝炎 3例	デング熱 2例	マラリア 1例	四類感染症: レジオネラ症 9例	ライム病 1例	日本紅斑熱 1例	日本脳炎 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 3例	梅毒 2例	ジアルジア症 1例	破傷風 2例	五類感染症: ウイルス性肝炎 2例	後天性免疫不全症候群 8例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例	クリプトスポリジウム症 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例	急性脳炎 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
-------------	------------------	---------	----------	------------------------	----------------	---------	---------	------------------	---------	----------	---------	------------------	-------	-----------	--------	-------------------	---------------	------------------	----------------	-------------	---------	-------------------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第35～40週、8/28～10/8)

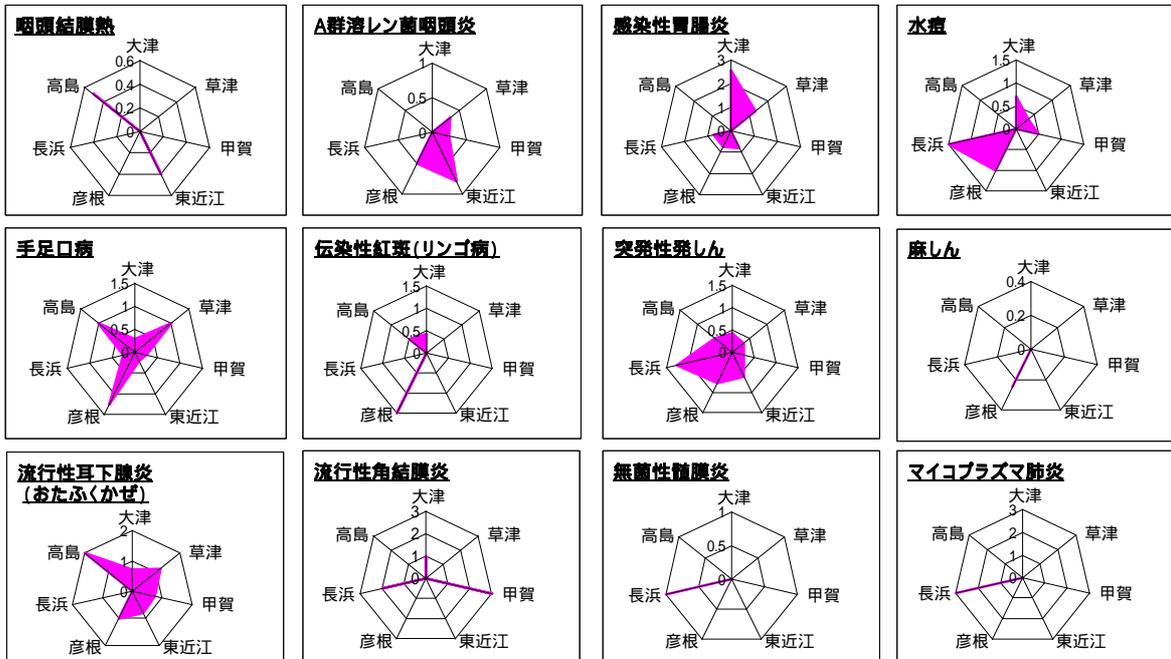
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	35週		36週		37週		38週		39週		40週	
	(8/28～)	(9/4～)	(9/11～)	(9/18～)	(9/25～)	(10/2～)	36	37	38	39	40	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.66	0.75	0.34	0.22	0.23	0.09						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	0.31	0.19	0.25	0.39	0.28						
感染性胃腸炎	0.88	0.88	1.09	0.81	1.35	1.13						
水痘	0.38	0.41	0.34	0.50	0.32	0.59						
手足口病	1.19	1.13	1.16	1.72	1.35	0.56						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	0.44	0.25	0.19	0.19	0.31						
突発性発しん	0.56	0.41	0.47	0.19	0.52	0.56						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.31	0.34	0.25	0.03	0.03	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0.03						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.66	0.41	0.50	0.22	0.52	0.84						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	1.00	0.86	0.43	0.29	0.33	0.86						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.29	0.29	0	0	0.14	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.86	0	0.14	0	0.43						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第40週, 10/2~10/8)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.09	0	0	0	0.40	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0	0.33	0.25	0.80	0.50	0	0	
感染性胃腸炎	1.13	2.57	1.33	0	0.80	0.75	0.75	0	
水痘	0.59	0.71	0.33	0.50	0	1.00	1.50	0	
手足口病	0.56	0.29	1.00	0.25	0.20	1.25	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.31	0.43	0	0	0	1.50	0	0.50	
突発性発しん	0.56	0.43	0.33	0.25	0.60	0.75	1.25	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.84	0.71	1.17	0.75	0.80	1.00	0	2.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.86	1.00	0	3.00	0	0	2.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加、■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
 0 0.5 1 1.5
 定点当たり患者数(人)

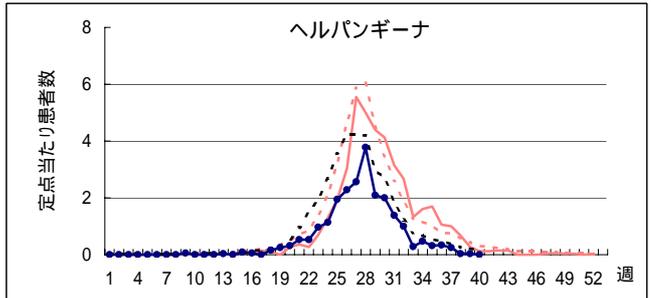
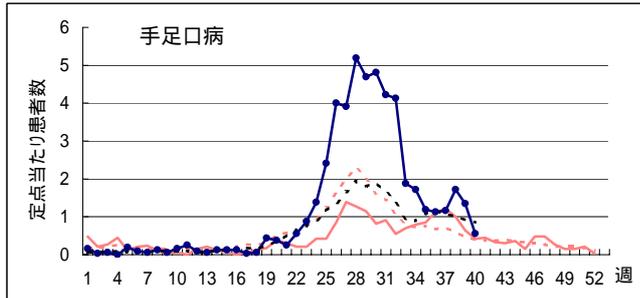
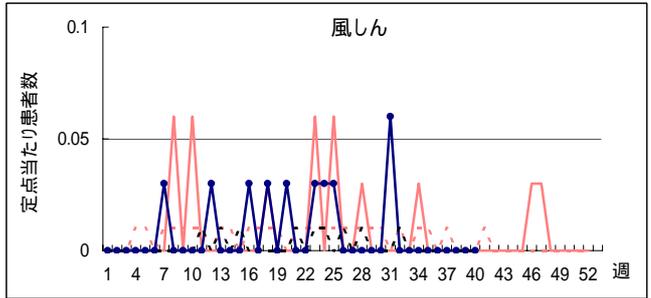
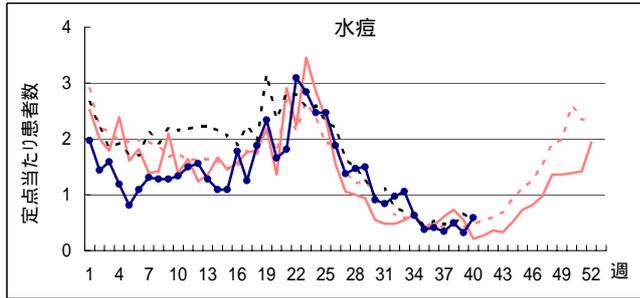
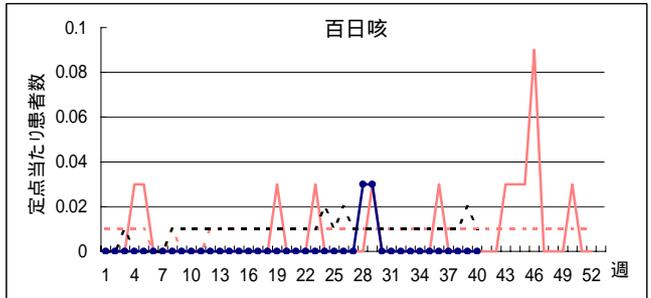
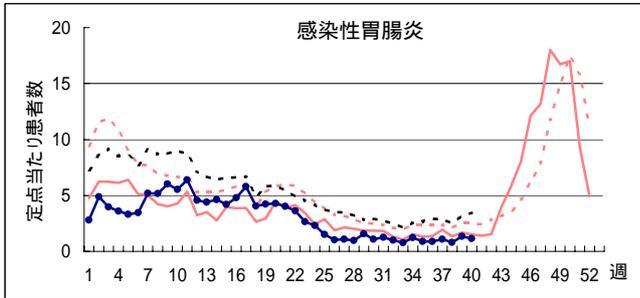
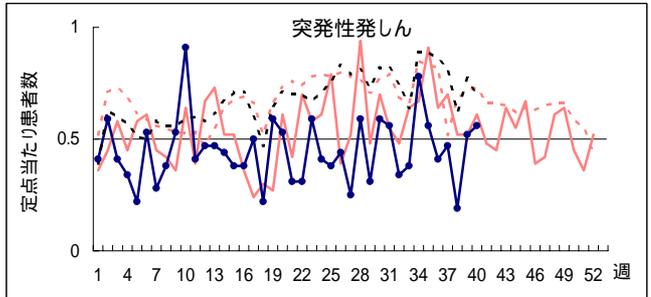
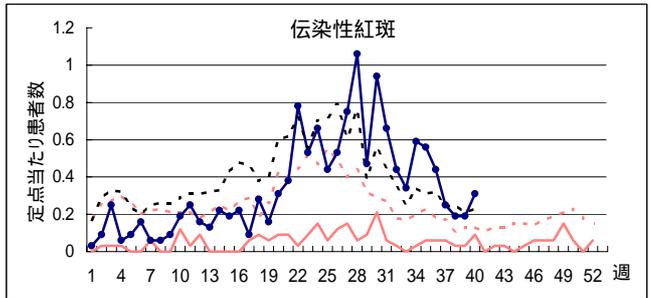
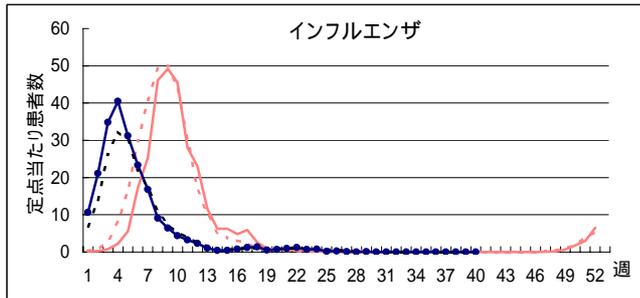
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱-----東近江および高島からの報告のみで、県全体では先週より減少しています。
- A群溶レン菌咽頭炎----彦根で先週よりやや多くなっていますが、県全体では先週より減少しています。
- 感染性胃腸炎-----東近江、彦根および長浜では先週よりやや多くなっていますが、県全体では先週とほぼ同様の発生状況です。
- 水痘-----長浜で先週より増加しています。彦根では先週より減少していますがやや多い状態が続いています。
- 手足口病-----先週、多かった甲賀、東近江、彦根および高島では減少していますが、草津では微増となっています。
- 伝染性紅斑-----彦根で先週より増加し、定点当たり患者数は1.50とやや多くなっています。
- 突発性発しん-----草津では先週より減少していますが、長浜では先週よりやや多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----長浜以外で先週より多くなり、県全体では先週に引き続き増加しています。
- 流行性角結膜炎-----大津、甲賀および長浜から報告されており、いずれも先週より多くなっています。
- 無菌性髄膜炎-----先週と同様、長浜から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第40週、H18.1.2～H18.10.8)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第40週、H18.1.2～H18.10.8)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●—●—●—
全国 - - - - -

